



西新潟中央病院

NST NEWS 第61号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2019年5月7日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線 1304

NSTミニレクチャー第37回 ～経腸栄養剤について～

皆さんは経腸栄養という言葉を知っていますか？

経腸栄養剤とは飲み込みの機能や消化管の機能が落ちた方などを対象とした、体に必要な栄養素を配合した栄養剤のことです。口から摂取する方法と、鼻から入れたチューブや胃ろう、腸ろうなどから投与方法の2つがあります。



経腸栄養剤には消化が必要であり比較的消化管の機能が保たれた方に使う半消化態栄養剤、消化が不要であり、比較的消化管の機能が低下している方に適している消化態栄養剤、消化がほとんどいらない成分栄養剤の3種類があります。

さて、NSTの世界では経腸栄養剤を医薬品に分類するものと食品に分類するもの（濃厚流動食と呼びます）に分かれています。それぞれの特徴についてご紹介させていただきます。

医薬品

手に入れるには処方箋が必要ではありますが保険適応があり、定期的に通院している方にとっては費用を安く抑えることができます。最近では新しい味も登場し、より多くの方のニーズに合ったものになってきています。エンシュア®（半消化態栄養剤）、ラコールNF®（半固形栄養剤）、エレンタール®（成分栄養剤）などがこれにあたります。



食品

購入に処方箋が不要なため、ドラッグストアや通信販売、薬局などで購入できます。またゼリーのような形態、紙パックのジュースのような形態など様々なものがあります。さらに味のバリエーションも多く、経腸栄養剤より使う方の好みに合わせて使うことができます。肝臓の機能が落ちた方（ヘパスII®など）、腎臓の機能が落ちた方（リーナレンLP®など）、糖尿病（インスロー®など）の方など様々な病気の方を対象としたものも多いです。



医薬品と食品をうまく使い分けることで、高齢者や障害、病気のために十分に食事がとれない方の栄養バランスを整え、より病気に負けにくい体づくりの一助となります。医師、栄養士、薬剤師などに相談し、一緒によりよい栄養管理の方法を考えていきましょう。

(文責：薬剤部 田沢 円)